

保育園での異文化体験エピソード



その5 ピアスってかわいいね～



イラスト・うつろあきこ

ス リランカ国籍のBちゃん（4歳児）は、両方の耳にピアスをしています。Bちゃんのお母さんに聞いたところ、スリランカでは、ピアスをするので、(かわいい)女の子として認められるのだそうです。

Bちゃんが入園した当初、年長児、年中児の中には、「Bちゃんのピアス、かわいい!」と少し羨ましそうに見る子もいましたが、女の子が髪飾りをつけるような感覚で、不思議なくらい自然に受けとめていたように思います。保護者の方々もまた、ごく自然に受け入れていたようです。

私たち保育者も、ピアスのことには触れず、開園以来、いろいろな国の子どもたちと一緒にすごしてきました。そして、私たち日本人も、親が違うように子どもも違うこと、肌の色が違うことなど、いろんな人がいることを子どもたちが気づけるように、全職員で一緒に話し合ってきました。

Bちゃんは、水遊び、身体をうんと使った遊びなどにも何の支障もなく、じっくり取り組んでいます。そして他の子どもたちも、「ピアスをつけている姿そのものが、Bちゃん自身」と受けとめ、今日も仲よく遊んでいます。

(谷川泰子/北海道帯広市・森の子保育園園長)

「地球家族ネットワーク」へのお誘いとエピソードのお願い

保育は、世界中の人と仲よく生活できること(平和)を伝える役割があります。

そこで、国際交流や外国籍の子どもたちの保育について情報交換をしたい方は、「地球家族ネットワーク」に参加してみませんか?!

また、外国籍の子どもを受け入れて、心に残るエピソードがありましたら、ぜひお寄せください。

全私保連 保育国際交流運営委員会

TEL 03-3865-3880 / FAX 03-3865-3879

E-mail: ans@zenshihoren.or.jp